科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：倫理学 ILAS Seminar :Ethics			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　　佐藤　義之		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2026・前期	受講定員 (1回生定員)	18 (15) 人	配当学年	主として１回生	対象学生	全学向
曜時限	金5	教室	共北33			使用言語	日本語
キーワード	哲学 / 倫理学 / サルトル / 自由						

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

倫理とは自由な主体の営みであり、自由な主体にとってしか倫理は意味をもたない。こういうものとしての自由を極限まで押しつめて考えたのがフランスの現象学派の哲学者サルトルである。授業では彼の思想を通じて、われわれの自由について見直したい。

テキストは講演原稿なので、哲学書としては比較的平易である。基本事項の解説を多く加えながら熟読する。

[到達目標]

サルトルのテキストを英訳で読み、自由を中心とする哲学的・倫理学的な問題意識に触れ、自ら考えるとともに、彼の独自の自由論について、基本的な知識を習得する。

また、このことを通じて、学術的な文章の読解力を身につける。

[授業計画と内容]

第１回：授業方法、成績の算定法等についてのガイダンスを行う。

第２回～第１４回：上記テキストを精読する。その際、教員からの問題提起をきっかけに、学生が自ら考えを深めていくことを重視する。また、自由、倫理という事象、サルトルが属す現象学派の考え方、およびその背景にある近現代の哲学の流れについて、基本的な事項を理解してもらう。

第１５回：フィードバック（詳細は別途連絡する。）

[履修要件]

すでにこの授業（ILASセミナー：倫理学）の単位を修得したものが再度受講しても、卒業に必要な単位としては認められない。

[成績評価の方法・観点]

平常点。具体的には出席と参加の状況（50点）と授業時のテキストの訳の巧拙（30点）、質疑応答の際の授業内容の理解度（20点）を評価対象とする。予習が不十分な場合は減点対象である。

[教科書]

テキストはJean-Paul Sartreの仏語原著からの英訳"Existentialism Is a Humanism" (Yale University Press)を使用し、必要箇所をプリントにして配付する。

ILASセミナー ：倫理学(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー　：倫理学(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

当日授業で読む箇所の予習は不可欠である。

[その他（オフィスアワー等）]

総合人間学部の学生は別途選抜を行うので、総合人間学部便覧のシラバスなどに記載の、総合人間学部生用の指示に従うこと。

[主要授業科目（学部・学科名）]